

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	財政課
職	課長
氏名	荒川 溪

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
税・交付税等の歳入の状況、県民のニーズ、将来の財政の見通し等を踏まえ、各部局と連携の下、毎年度の予算を編成し、また、予算の効率的・効果的な執行に努める。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か					
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか					
<ul style="list-style-type: none"> ・楽観できない財政状況の中、行財政改革の取り組みをさらに拡充・強化し、自立的かつ持続可能な財政基盤の確立に努める一方、ハードからソフトへの転換、選択と集中による施策の重点化を推進し、これまで以上に社会情勢の変化や県民ニーズに的確に対応するための施策に重点を置き、新長期構想の8つの重点戦略を着実に具現化していく予算の編成・執行に努める。 ・「三位一体の改革」による税源移譲を踏まえ、また、税負担の公平の観点から税収確保の取り組みを強化するとともに、広告収入をはじめとした税外収入についても、自主財源を確保する観点から積極的に取り組み、歳入の確保を図る。 ・職員費の削減をはじめ、内部管理事務の集約化等の一般行政経費の縮減に引き続き取り組むほか、財政運営の工夫による負担の平準化を図るなど、歳出全般について見直しを行う。 						
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する					
	目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
	基金の取り崩しに頼らない持続可能な財政基盤の確立 財政調整基金等の残高の確保	約344億円	H25	取り崩しを極力抑制		
	県債残高(臨時財政対策債及び転貸債(復興基金分)を除く)を前年度以下の水準に抑制	約8,684億円	H25	前年度以下に抑制		



26年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する